

## 口蹄疫の発生に備えた防疫技術研修会の開催

3 月 14 日、口蹄疫の発生に備えた防疫技術研修会（広域防疫対策センター主催）が、家畜保健衛生所等の職員を対象に、当センターで開催されました。

家畜保健衛生所は、口蹄疫が疑われる場合、病変部位の写真を撮影し、その画像を現場から家畜保健衛生所へ送信し、さらに畜産課を經由して農林水産省へ届け、その発生の有無を判断していただきます。

そこで、研修では当センターの牛を使って、病変が起こる部位の鮮明な画像を迅速に撮影し、送信する実習が行われました。また、当センター職員が講師となり、写真撮影等を行うためロープで牛を保定する方法を指導しました。



病変が起こる部位の写真撮影実習



牛の保定実習